

第2章 健康・福祉の分野

▶ 施策展開の方向（基本構想より）

子育てを応援し、だれもが健やかに安心して暮らせる

未来を担う子どもたちが健やかに育つよう、家庭や地域社会と連携しながら、子育てのしやすい環境整備を進めます。

市民が積極的に心と体の健康づくりを進められるよう、地域に根づいた健康・長寿の保健・福祉・医療体制を充実していきます。

高齢者や障害のある人など、だれもが自由に活動できるよう、物理的、制度的、精神的な障壁を取り除き、バリアフリーの社会を築きます。

介護などについて家庭や地域社会が課題を共有するとともに、ボランティア団体、NGO・NPO や民間事業者も交えて多様なニーズにこたえられる保健福祉サービスを生み出し、互いに協力し支えあう地域社会を築きます。

▶ 施策体系（基本計画より）

第1節 保健福祉推進体制の充実

- (1)地域福祉の推進
- (2)充実した保健福祉サービスの展開
- (3)サービス利用者の権利保障
- (4)ユニバーサルデザインの都市づくりの推進

第2節 子育て支援の充実

- (1)母子保健の充実
- (2)安心して生み、育てられる環境づくり
- (3)保育サービスの充実
- (4)のびのび育つ環境の整備

第3節 豊かな高齢期の実現

- (1)社会参加と健康づくりの促進
- (2)介護と生活支援の充実

第4節 障害者の福祉向上

- (1)療育及び生活支援の充実
- (2)自立と社会参加のための環境整備

第5節 健康づくりの推進と医療の充実

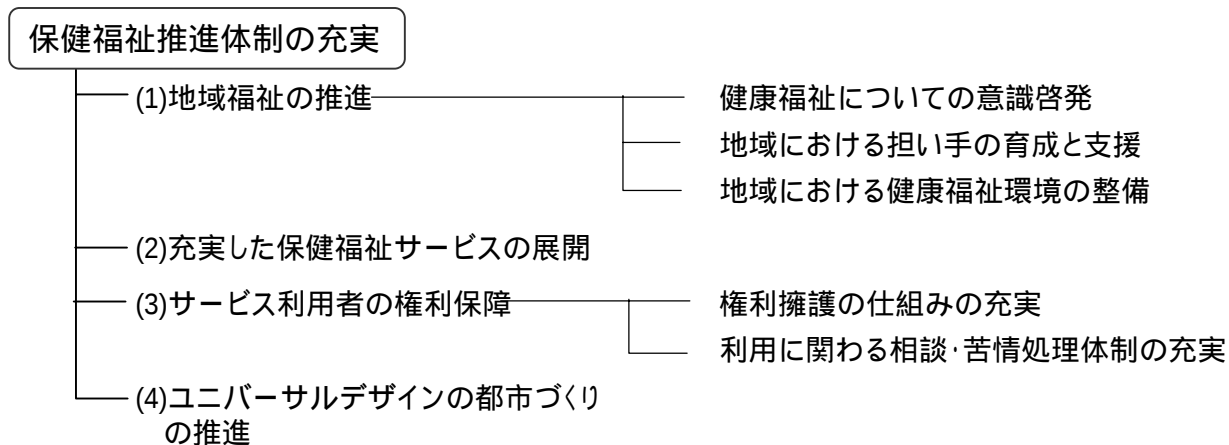
- (1)健康づくりの支援
- (2)医療の充実

第6節 食品の安全性と生活環境の向上

- (1)食品・生活環境の安全確保対策の強化
- (2)人と動物のふれあえる環境の整備

第1節 保健福祉推進体制の充実

■ 施策体系



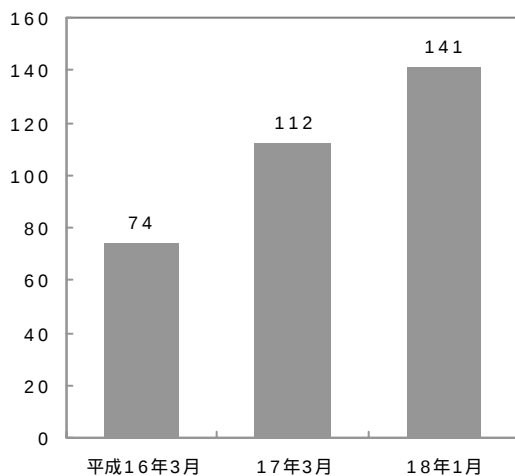
施策の方向性

市民による地域福祉活動を拡大します。
保健福祉サービスを利用しやすい体制を充実します。

参考データ

● 市内に事務所を置く保健・医療又は福祉の増進を図る活動に関わる NPO 法人数の推移

(団体)



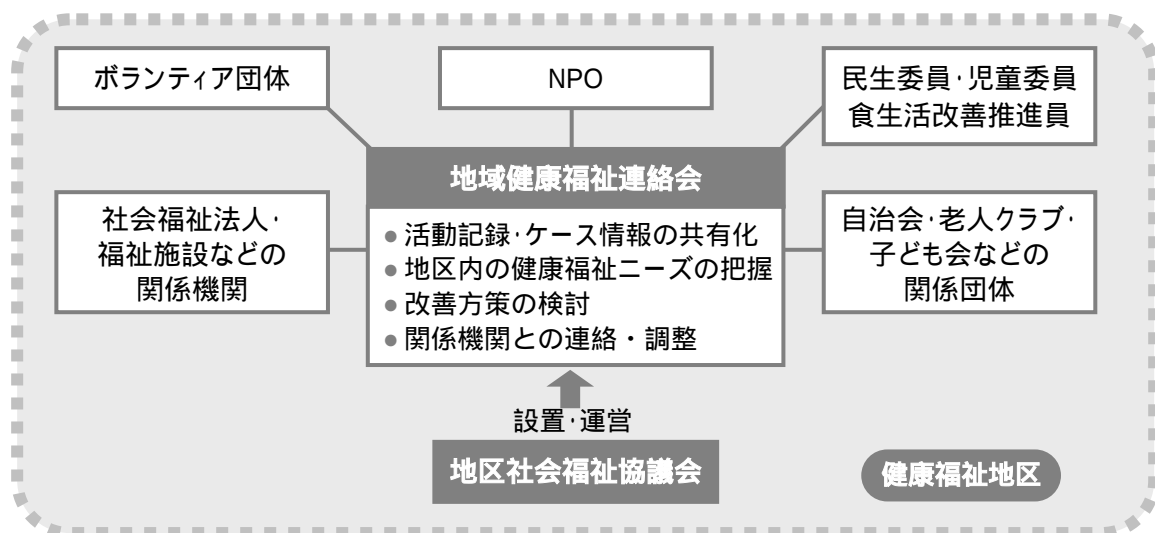
注) 平成18年1月は岩槻区を含む

資料: 政策局政策企画部コミュニティ課市民活動支援室

■実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
地域健康福祉連絡会の設置・運営 市民の福祉ニーズに応じた適切なサービスが提供できるよう、民生委員や食生活改善推進員、社会福祉法人などによる地域健康福祉連絡会の設置を促進し、地域における健康福祉推進の環境を整備します。 〔福祉総務課〕	地域健康福祉 連絡会運営 21 地区 / 39 地区 (地区社会福祉 協議会)	33 地区 / 39 地区 (地区社会福祉 協議会)
福祉のまちづくりの推進（再掲 p76） だれもが住みよい福祉のまちづくり条例に基づき、公共施設、交通関連施設などのバリアフリー化を推進します。また、ユニバーサルデザインの基本的考え方による取り組みに向けた推進指針の検討を進めます。 〔福祉総務課・企画調整課〕	推進	推進
交通バリアフリーの推進（再掲 p76,89） 交通バリアフリー基本構想に基づき、駅とその周辺におけるバリアフリー化を推進し、高齢者や身体障害者等の移動の円滑化を図ります。 〔都市施設課〕	推進	推進 (市内全駅)

●地域健康福祉連絡会の概念図

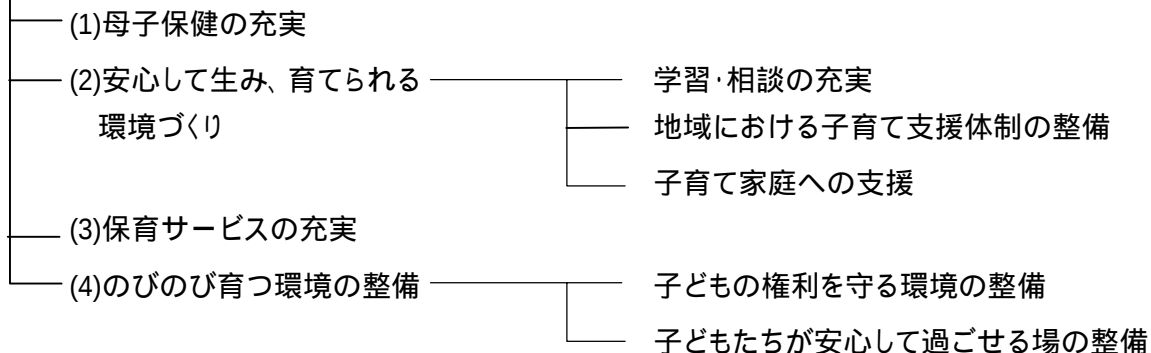


資料：さいたま市保健福祉総合計画（平成15年3月）

第2節 子育て支援の充実

■ 施策体系

子育て支援の充実



施策の方向性

身近に子育て支援サービスを受けられるようにします。
保育サービスを受けられない児童を減らします。

参考データ

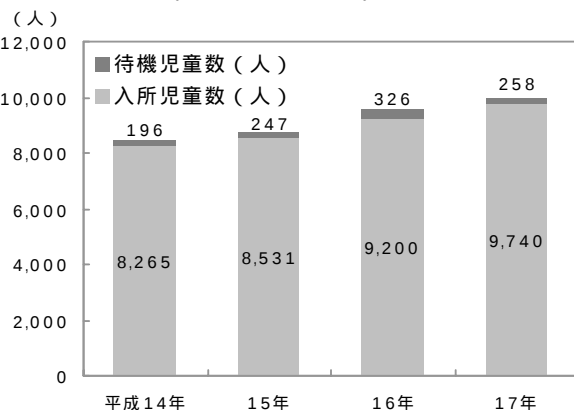
● 地域子育て支援センターの利用実績

内 容		平成 15 年度	平成 16 年度
電話相談		1,785 件	1,534 件
面接相談		425 件	860 件
登録サークル		31 団体	29 団体
	人数	1,656 人	1,138 人
延べ利用人数（サロン含む）		10,246 人	11,770 人

資料：保健福祉局福祉部子育て支援課

注）各年とも岩槻市は含まず

● 認可保育所の状況（各年4月1日現在）



認可保育所への入所拡大を図っていますが、保育需要の増加に追いつかない状況となっています。

資料：保健福祉局福祉部子育て支援課

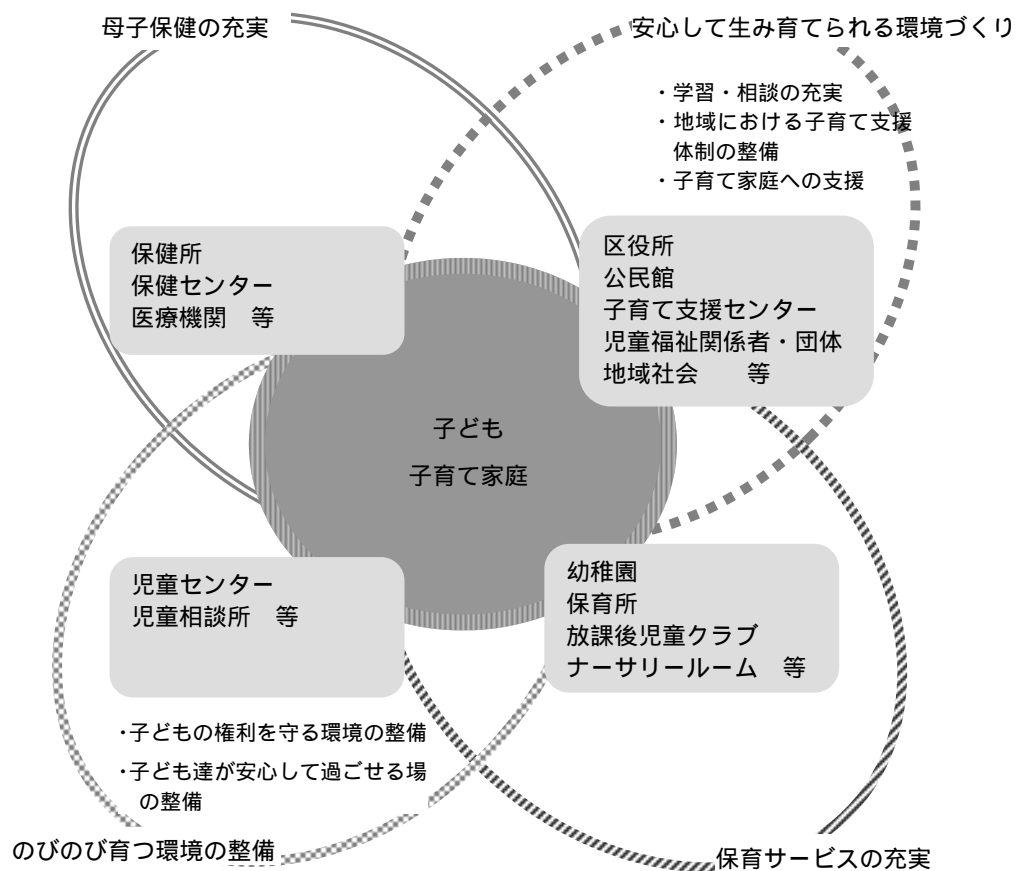
注）各年とも岩槻市を含む

■実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
乳幼児健康診査の充実 乳幼児の健康の保持増進や育児支援、虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査の充実を図るとともに、健康診査後の保健指導や相談など、医療機関と連携した支援体制を充実します。 〔保健所保健総務課〕	推進	充実
子育て支援ネットワーク事業 子育てや子育てにかかわる様々な情報や支援策を保護者や子どもたちが効果的、効率的に活用できるよう、児童福祉関係者や関係機関、学識経験者、市民によるネットワークを構築します。 〔子育て支援課〕	推進	充実
地域子育て支援センター整備事業 育児不安などの相談指導や子育てサークルの育成支援など、地域の子育て家庭に対する支援を進めるため、地域子育て支援センターを拡充します。 〔子育て支援課・保育課〕	単独施設 2 か所 保育所併設施設 23 か所	4 か所 32 か所
ファミリー・サポート・センターの充実 （再掲 p106,126） 仕事と育児の両立を支援するため、援助を受けたい会員、援助をする会員からなる互助制度であるファミリー・サポート・センターの運営を充実します。 〔保育課〕	会員数 2,359 人 活動件数 12,293 件	3,500 人 18,450 件
児童センター整備事業 児童の健全な育成を図り、子育てサークルや子ども会など地域組織活動の支援を行うため、児童センターを整備します。 〔子育て支援課〕	児童センター 16 か所	19 か所
子育て支援総合事業 子育ての負担感や不安感を解消するため、相談などに対応する子育て支援総合コーディネーターを配置するとともに、子どもに関する情報を一元的に把握し、紙・人・ITを媒体として情報発信していく体制を整備します。 〔子育て支援課〕	推進 子育て応援ブック の発行	推進 (仮)さいたま子育て Web 開設 (17 年度) 子育て応援 ダイヤル開設 (17 年度)

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
保育所の新設整備事業 待機児童の解消のため、認可保育所の整備や、保護者の利便性の向上のため、送迎保育ステーションの設置を促進します。また、幼稚園・保育所一体施設の整備を促進します。 〔子育て支援課〕	認可保育所定員 9,383 人 幼・保一体施設定員 0 人 送迎保育ステーション 0 か所	9,900 人 300 人 1 か所
放課後児童健全育成事業 保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生の放課後の健全育成を図るため、待機児童解消や保育環境の向上などの取り組みを充実します。 〔子育て支援課〕	小学1～3年生の利用児童数 3,914 人 施設数 119 施設	5,350 人 132 施設

●子育て支援の仕組み

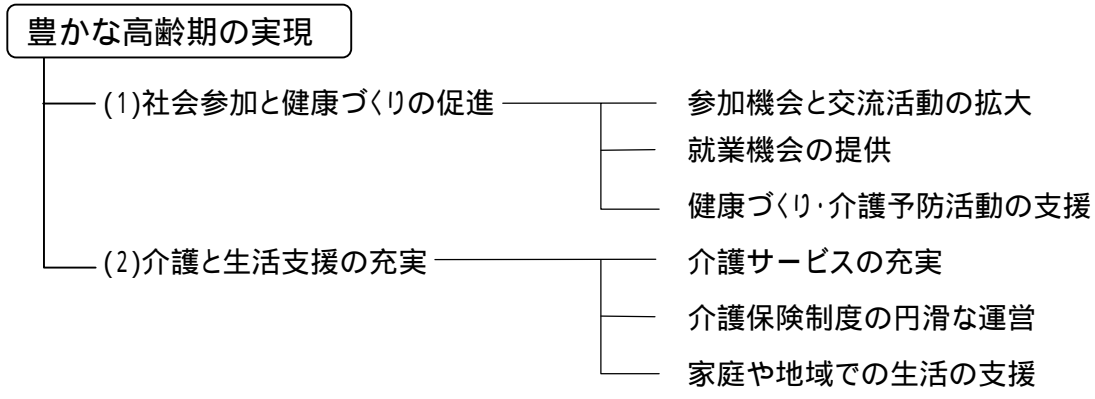


資料：保健福祉局福祉部子育て支援課

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
ナースリールーム（認定保育室）事業 認可保育所に準じた基準を満たした認可外保育施設を、ナースリールームとして認定・支援し、保育所の新設整備などとあわせ、待機児童の解消と多様な保育ニーズへの対応を図ります。 〔保育課〕	ナースリールーム 定員 612人 推進	推進
児童虐待防止対策事業 児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応のため、ハイリスク家庭への訪問指導や各種相談事業などを行うとともに、関係機関などとの連携強化を進めます。また、子どもの健やかな育成のための憲章等の制定について検討します。 〔子育て支援課・保健所地域保健課・児童相談所〕	推進	充実
小児救急医療体制の充実・強化（再掲 p51） （仮）さいたま市民医療センターによる小児二次救急医療の強化や、自治医科大学と他の医療機関との周産期医療における連携強化を図るなど、小児救急医療体制の充実を図ります。 〔健康増進課〕	推進	充実

第3節 豊かな高齢期の実現

■ 施策体系

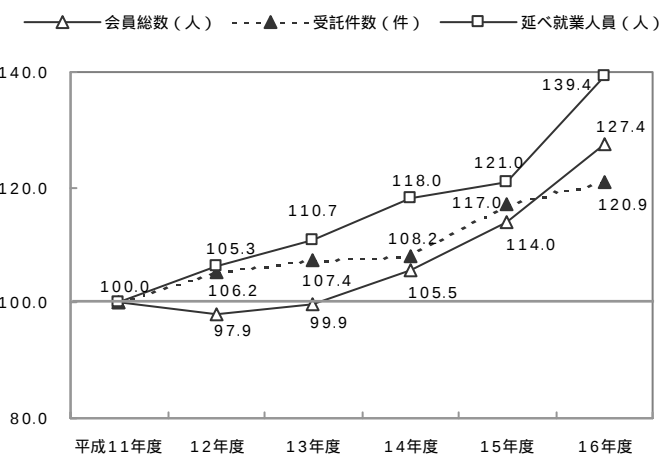


施策の方向性

高齢者が社会に参加し元気に活動できるよう支援します。
高齢者が自宅で安心して暮らせる環境をつくれます。

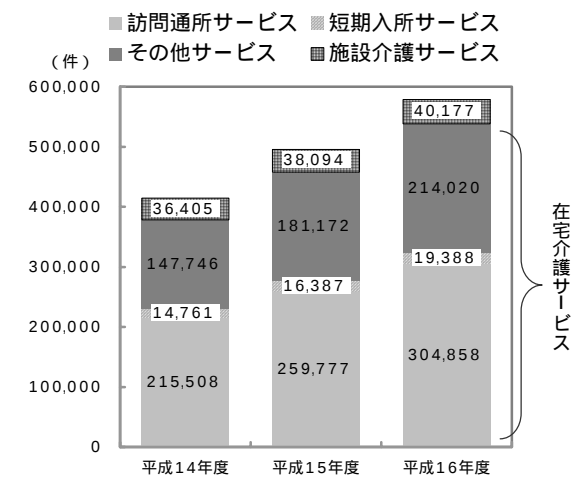
参考データ

●シルバー人材センターの利用状況（数値は平成11年度を100とした指数）



注）各年とも岩槻市を含まず
資料：さいたま市シルバー人材センター

●介護保険サービスの利用状況



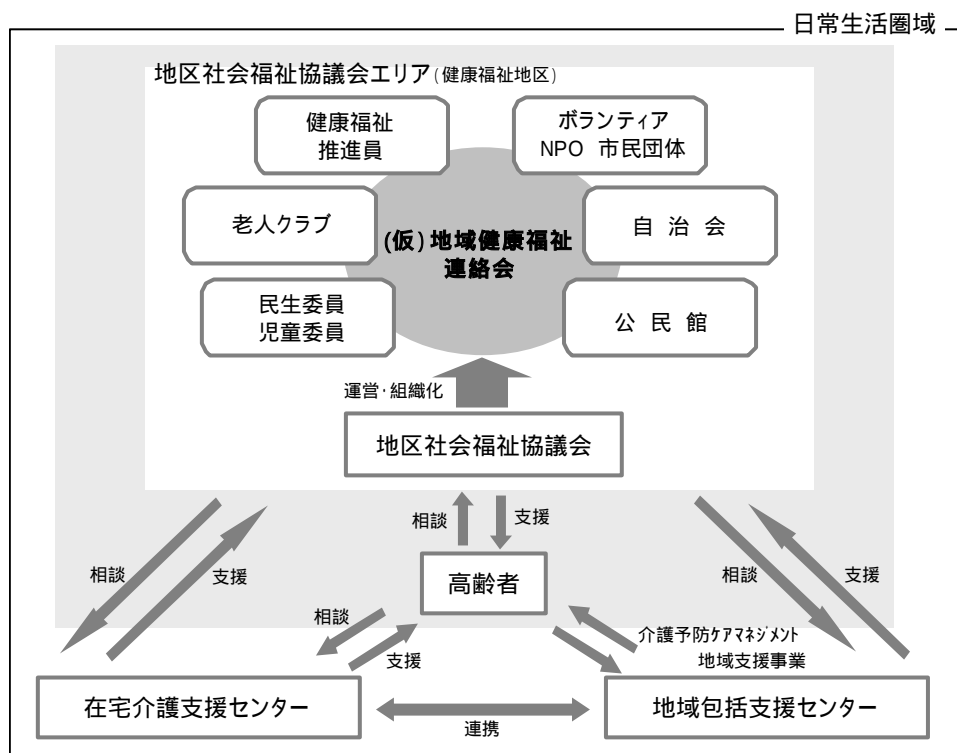
注）各年とも岩槻市を含まず
資料：保健福祉局福祉部介護保険課

■実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
シルバー人材センターの充実・シルバーバンク事業 （再掲 p106,129） 高齢者の就業機会を確保し、活力ある新しい地域社会づくりを目指すシルバー人材センターの充実と、団塊の世代の社会参加を図るシルバーバンク事業を実施します。 〔高齢福祉課〕	会員数 3,395 人	充実 シルバーバンクの 創設
（仮）高齢者生きがい活動センター整備事業 北区内にある大宮火葬場跡地に、シルバー人材センターの作業場であるシルバーワークプラザや植竹老人憩いの家などを移転拡充した（仮）高齢者生きがい活動センターを整備します。 〔高齢福祉課〕	検討	完成 （19 年度）
居宅介護サービスの充実 介護支援専門員協会やサービス事業者連絡協議会と連携を図るとともに、介護相談員が介護サービス提供の場を訪ね、利用者の不安の解消を図り、在宅サービスの質の向上と量の確保を進めます。 〔介護保険課〕	介護相談員 0 人	20 人
介護保険関連施設等の整備促進 在宅での介護が困難な高齢者が、必要なサービスを受けられるよう、民間事業者による介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設の整備を促進します。 〔介護保険課〕	施設整備 特養 1,487 床 老健 1,148 床	2,978 床 2,298 床
（仮）西部地区高齢者総合福祉施設整備事業 西部地区において、特別養護老人ホームなどを持つ新たな高齢者総合福祉施設の整備を促進します。 〔高齢福祉課〕	促進	開設

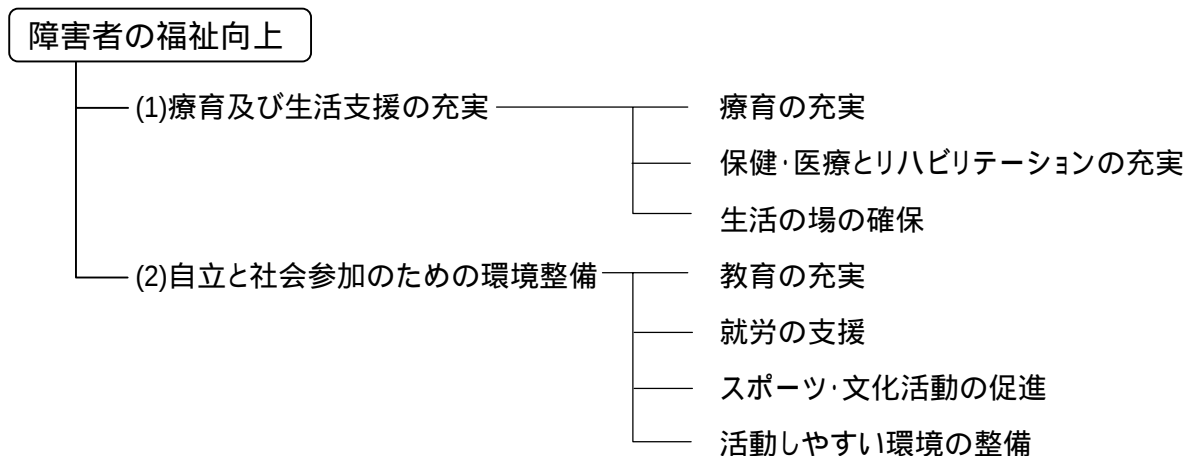
事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現状〔平成17年度当初〕	平成20年度末
高齢者地域ケア・ネットワークの構築 高齢者が地域で主体的に生活できるよう、在宅介護支援センターや地域包括支援センターを整備するとともに、地域健康福祉連絡会と協力・連携し、生活を支援するネットワークを構築します。 〔高齢福祉課〕	在宅介護支援センター 地域型 50 か所 基幹型 3 か所	52 か所 3 か所
高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業（再掲 p118） 高齢者世帯（60 歳以上の単身・夫婦世帯）を支援するため、高齢者が安全に安心して居住できるようバリアフリー化され緊急時対応サービスの利用が可能な優良な民間賃貸住宅を認定し、供給促進のための入居者支援（家賃補助）を行います。 〔住宅課〕	供給戸数 13 戸	85 戸

● 高齢者地域ケア・ネットワークのイメージ



第4節 障害者の福祉向上

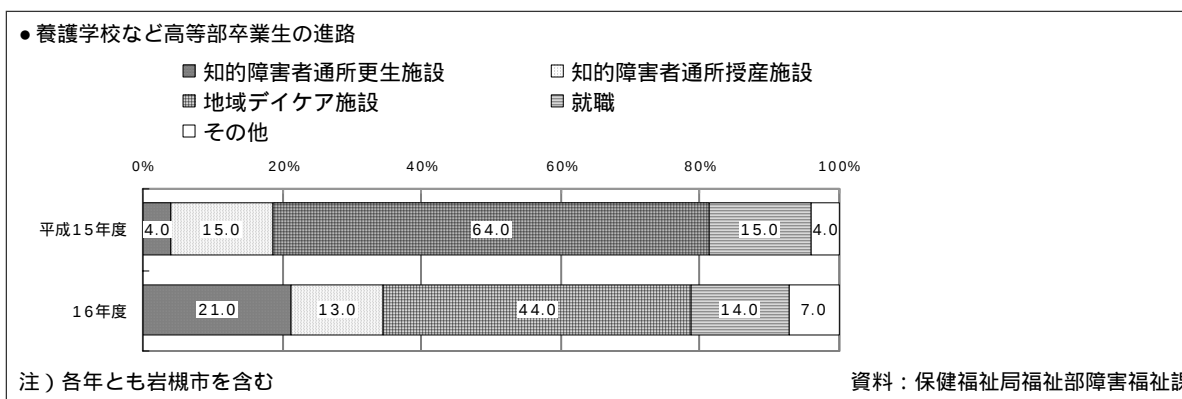
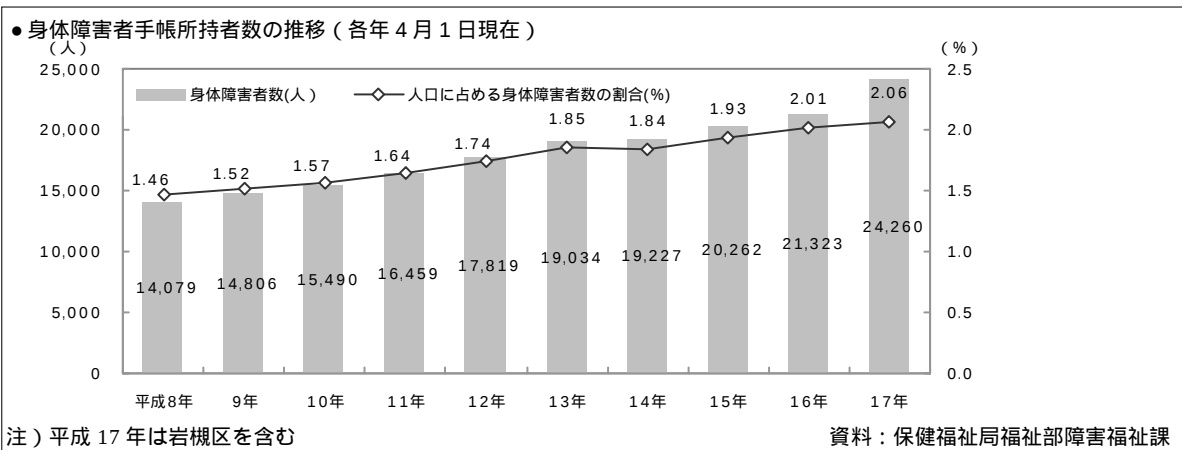
■ 施策体系



施策の方向性

在宅福祉サービスを拡充します。
障害者の自立を支援します。

参考データ

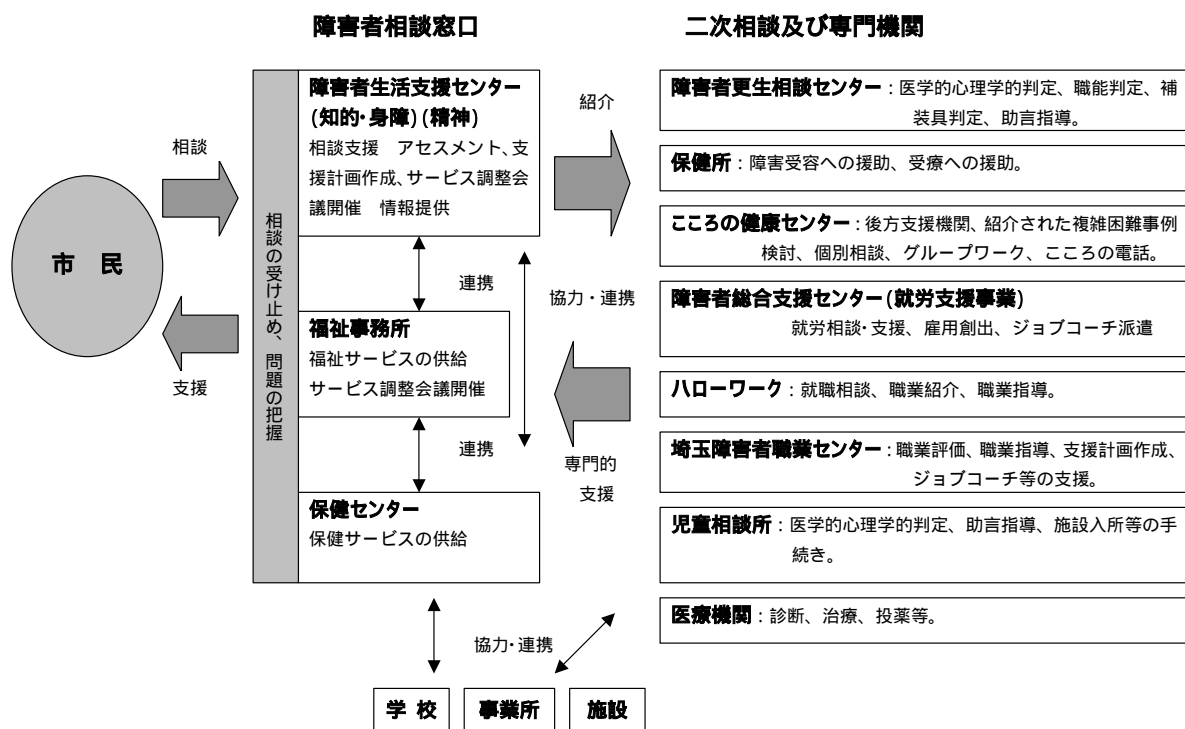


■実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
障害児療育システム構築事業 桜区に（仮）田島2丁目療育センターを設置し、療育の待機児の解消を図るとともに、障害の早期発見・早期療育の体制強化を進めます。 〔障害福祉課〕	療育待機児童数 70人	0人
在宅福祉サービスの充実 在宅障害者が地域の中で安心して快適な生活を送るために必要な、ホームヘルプサービスやデイサービス、短期入所などのサービスを拡充します。 〔障害福祉課〕	ホームヘルパー派遣時間 451,109時間 デイサービス 5か所 短期入所 8,739日	478,000時間 6か所 7,951日
グループホーム・生活ホームの設置促進 自立生活を望む障害者のための生活支援体制を整えたグループホーム・生活ホームの設置を促進するとともに、関係団体への支援を行います。 〔障害福祉課〕	グループホーム 11か所（44人） 生活ホーム 16施設（107人）	17か所（64人） 17施設（113人）
障害者生活支援センター設置事業 障害のある人からの相談に応じるため、各区に障害者生活支援センター・精神障害者地域生活支援センターを設置します。 〔障害福祉課〕	障害者生活支援センター 2か所 精神障害者地域生活支援センター 5か所	10か所 10か所
特別支援教育事業の推進（再掲 p60） 障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、市立養護学校に相談センターを整備するなど特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。 〔指導2課〕	特殊学級設置校数 35校 通級指導教室設置校 6校	43校 10校 推進
知的障害者援護施設整備促進事業 知的障害者の社会的自立の支援や職業訓練を行う、通所型の更生施設・授産施設の整備を促進し、養護学校卒業後の通所受入れ先を確保します。 〔障害福祉課〕	養護学校卒業生の通所受入れ先 11か所	16か所
障害者就労支援事業（再掲 p106） 就労機会の拡大や職場定着を図るため、障害者就労支援センターを設置するとともに、福祉的就労先である授産施設や小規模作業所の運営を支援します。 〔障害福祉課〕	養護学校等卒業生の就労率（福祉的就労を含む） 25%	40%

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	H20 年度
障害者のスポーツ参加の推進（再掲 p67） 障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会等に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。 〔障害福祉課〕	初級障害者スポーツ指導員養成 0 名 推進	120 名 推進
公立障害者施設整備事業 障害者が地域で生活するため、就労支援や生活支援、授産支援を行うとともに、障害者の社会参加を推進する(仮)障害者総合支援センターを設置し、障害者の総合的支援を行います。 〔障害福祉課〕	検討	(仮)障害者総合支援センター開設 (19 年度)

● 障害者支援体制のイメージ図



資料：保健福祉局福祉部障害福祉課

第5節 健康づくりの推進と医療の充実

■ 施策体系

健康づくりの推進と医療の充実

(1)健康づくりの支援

健康についての意識向上

疾病予防対策の充実

(2)医療の充実

地域医療提供体制の充実

医療についての情報提供の充実

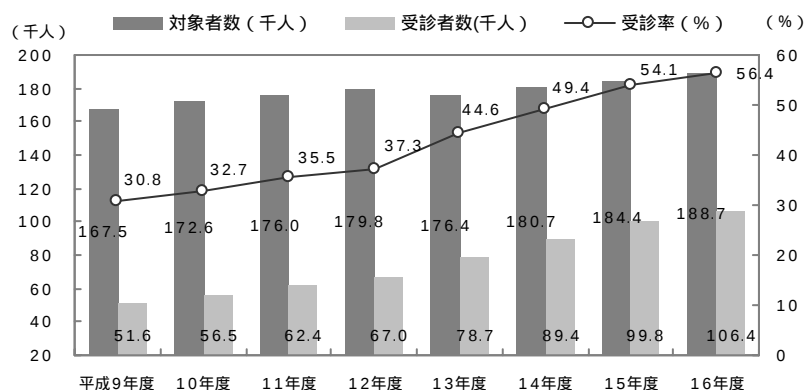
施策の方向性

健康管理の大切さに対する意識を高めます。

市民が適切な医療を受けられるよう環境整備を進めます。

参考データ

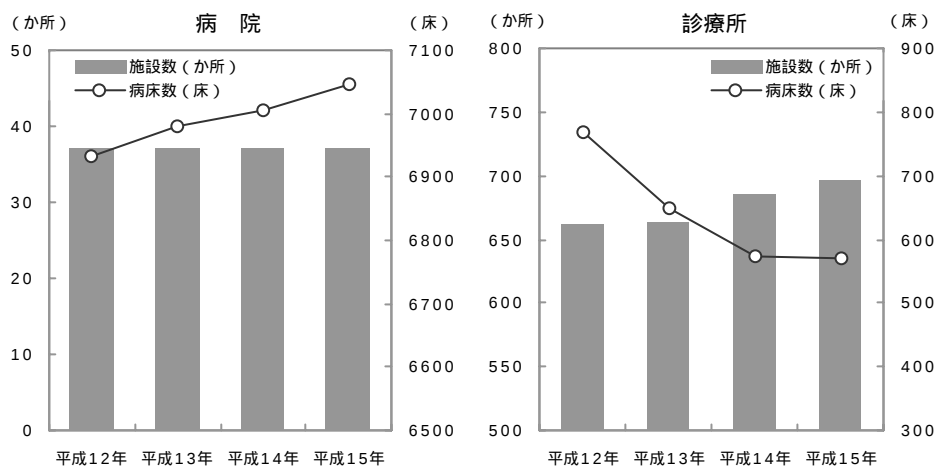
●さいたま市基本健康診査の受診状況



注) 各年とも岩槻市を含まず

資料: 保健福祉局保健部健康増進課

●市内医療施設数・病床数



注) 病院については各年末現在、診療所は各年度末現在。各年とも岩槻市を含まず

資料: さいたま市統計書

■実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
健康づくり推進事業 健康づくりに関する情報提供や健康づくりに取り組む団体の活動の支援・ネットワークづくりなどの体制の整備を行い、地域における市民の主体的な健康づくりを推進します。 〔健康増進課〕	推進	推進
保健所等複合施設整備事業 保健所と保健衛生・環境公害などの検査研究機関をあわせ持つ複合施設を整備します。 〔保健施設準備室〕	事業中	開設 (19年度)
(仮)さいたま市民医療センター整備事業 大宮医師会市民病院の病床数240床を基礎に、100床を増床して公設民営形態による病院を市の西部に整備します。 〔病院建設準備室〕	検討	開設
市立病院機能の再整備事業 市民の医療ニーズに的確に対応していくため、老朽化の目立つ東病棟の建替えを含めた市立病院機能の再整備を図り、あわせて、市立病院の救急医療体制のあり方を検討します。 〔市立病院事務局庶務課〕	構想・検討	マスタープラン策定
各区の緊急医療体制の整備 市民の暮らしの安全安心を確保するため、各区役所や公共施設への自動体外式除細動器(AED)を配置するとともに、緊急時に備えた救急救命講習会(AEDの取扱い含む。)を実施します。 〔健康増進課〕	検討	推進
小児救急医療体制の充実・強化(再掲 p41) (仮)さいたま市民医療センターによる小児二次救急医療の強化や、自治医科大学と他の医療機関との周産期医療における連携強化を図るなど、小児救急医療体制の充実を図ります。 〔健康増進課〕	推進	充実
保健医療・防疫システムの整備 医療機関と保健所の連携により新型インフルエンザ対策などを進めます。また、県システムとの連携を含め、救急情報システムを構築します。 〔健康増進課〕	推進	充実

● AED の取扱い講習会



資料：消防局警防部救急課

第6節 食品の安全性と生活環境の向上

■ 施策体系

食品の安全性と生活環境の向上

- (1)食品・生活環境の安全確保対策の強化
- (2)人と動物のふれあえる環境の整備

施策の方向性

食品の安全性を高め、健康被害を防止します。
人と動物の共生を目指し、動物愛護の拠点施設や動物の適正な飼育管理に関する普及・啓発を進めます。

参考データ

● 食の安全に関する講習会の受講者数（平成16年度実績）

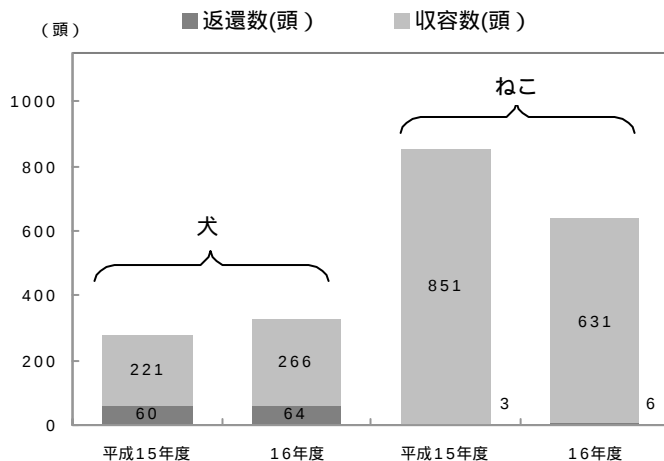
食品衛生や食育に関する知識を普及するため、「食の安全フォーラム」や「親子『食』のおもしろ発見・体験教室」などを開催しました。

講座名		開催地区	受講者数
食品衛生講習会（39回開催）		各区	1,497
食の市民講座		大宮区	115
一日食品衛生監視員		北区	15
食の安全フォーラム		浦和区	531
親子「食」のおもしろ発見・体験教室	伝承料理を学ぼう	西区	18
		緑区	35
	市場を探検しよう	北区	33
	野外料理を体験しよう	見沼区	44
	食品検査を体験しよう	大宮区	95
	魚をおろしてみよう	浦和区	38

注）岩槻市は含まず

資料：保健福祉局保健部生活衛生課

● 犬・ねこの収容件数



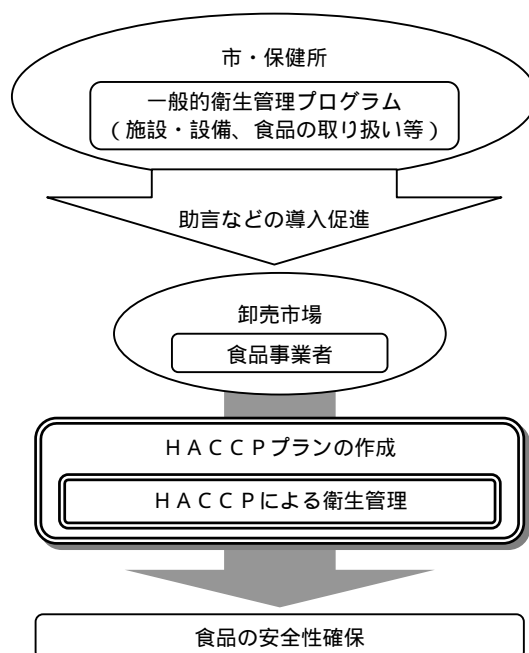
注）各年とも岩槻市は含まず

資料：平成16年度保健所・保健センター事業概要

■実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
食の安全確保対策事業 食に対する市民の不安を解消し、安心した食生活を送れるよう、情報提供や相談対応の充実、食の安全委員会の開催など、食品監視指導や検査を行い、総合的な食の安全対策を進めます。 〔食品環境安全室〕	推進	推進
市場流通食品 HACCP 導入促進事業 食品の衛生管理の強化のため、大宮・浦和市場への HACCP による衛生管理方式の導入を促進します。 〔保健所環境衛生課〕	促進	導入
動物愛護推進事業 人と動物がふれあえる共生社会を実現するため、動物の飼養に関する基本事項などを内容とする（仮）動物の愛護及び管理に関する条例を制定するとともに、動物愛護ふれあいセンターを整備します。 〔生活衛生課・保健施設準備室〕	事業中	（仮）動物の愛護及び管理に関する条例制定 （18年度） 動物愛護ふれあいセンター開館 （18年度） 推進

●市場流通食品HACCP導入促進事業のイメージ



資料：保健福祉局保健所環境衛生課

